

実践と研究の記録

令和5年度

さしわだ

第42号

大阪府立岸和田支援学校

目 次

I. 教育活動等のまとめより		
『生活介護事業所で、自分らしい生活の場を創り出す』	金 大 洪	・・・ 1
『身近なところで使われている応用行動分析』	岡本 光悦	・・・ 5
『児童生徒の実態から支援の方策を考えるために行うアセスメントの手順について』	岡田 香奈子 住本 千寿	・・・ 9
II. 実践報告		
〈事例研究〉〈事例研究研修会〉		・・・ 12
III. 人権研修		
『ハラスメントに関わる研修』	川並 しのぶ	・・・ 23
IV. 校内教材交流会		・・・ 30

I. 教育活動等のまとめより

進路研修

～生活介護事業所で、自分らしい生活の場を創り出す～

金 大 洪（進路支援部）

■要旨：「～生活介護事業所で、自分らしい生活の場を創り出す～」というテーマで、一般社団法人やまなみ福祉会代表理事、南 久美子氏に講演いただいた。きずな、きずな 2 号館は、岸和田支援学校の卒業生が多数在籍しており、活動内容も多岐にわたる。生活介護事業所での活動の様子と、卒業生の様子について写真を交えながら説明していただいた。

■キーワード：進路指導 障害福祉サービス事業所 キャリア教育

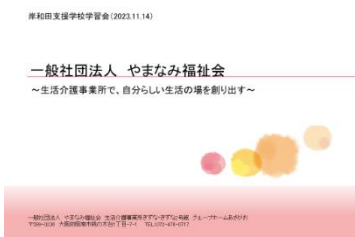




1 実施日程と対象

- (1) 日時：令和 5 年 11 月 14 日 火曜日
- (2) 場所：本校
- (3) 講師：南 久美子（(一社)やまなみ福祉会 代表理事、生活介護事業所 2 号館きずな 管理者）
根無 哲也（生活介護事業所 きずな サービス管理責任者）
- (4) 対象：本校教職員

2 内容と資料

- (1) 内容
 - ① 設立について
年間スケジュール、月間スケジュール、毎月の行事について
 - ② 食事・トイレ・お風呂・車両の紹介
献立表、医師の往診、歯科診療、散髪、一日のスケジュール
 - ③ 個別課題・機能訓練紹介
リハビリの様子、ユーラックを使った感覚統合の様子、パラバルーンの様子
 - ④ 地域の交流
桃の木カフェ 飯峰中学校サンサンパーティ
阪南商工会匠の ippin サラダホールつながりスペース K. 27Cafe

(2) 資料

 <p>一般社団法人 やまなみ福祉会 ～生活介護事業所で、自分らしい生活の場を創り出す～</p>	<p>設立</p> <p>平成27年6月19日 法人設立 平成28年4月1日 生活介護事業所 きずな 開所 令和2年3月1日 生活介護事業所 なぎさきずな開所 令和3年11月1日 グループホーム あさがき 開所 短期入所（ショートステイ）</p>																																																																																																																																
<p>年間スケジュール</p> <p>生活介護事業所きずな 年間行事カレンダー</p> <p>年間行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 お花見・入所式 5月 母の日・ハロウィン見学 6月 賞状花見争(倉庫争) 7月 七夕・松野山マリンランドイ 8月 夏祭り 9月 選抜訓練 10月 ハロウィン・健康診断 11月 特別の予防接種・オンラインイベント 12月 クリスマス会・お楽しみ会・大発表 1月 初詣・成人式 2月 バレンタインデー・節分 3月 いよいよお花見・健康診断・お花見争 	<p>きずなでは、1年間の行事を通して、色々な場所へ行き、四季折々の季節を五感で感じ、地域の方や職員との交流を大切にしています。体調面を考慮し、日頃からご本人の様子を把握することで、無理のないように外出を楽しんでいます。</p> <p>毎日が同じ繰り返しにならないようにたくさんの行事や外出を取り入れ、目標や楽しみを持ち日々の訓練も頑張っています。</p>																																																																																																																																
	 <p>夏祭りやハロウィン、セタや成人式など毎月行事があり、みなさんいつも笑顔で参加されています。</p>																																																																																																																																
 <p>1号館2号館では、すぐ近くに大きな桜の木があり、春にはとても綺麗な桜が満開です。少し気分転換に外をお散歩したり、近くの電車を覗かれています。また、コロナも落ち着いてきたこともあり、控えていた外出も再開し、マリナーシティへご家族も一緒に遊びに行っていました。一度に全員で行くのは難しいですが、少人数で何日かに分かれて無理ないように外出しています。</p>	<p>月間スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>日</th> <th>行事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5</td> <td>入所式</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>19</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>23</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>27</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>31</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>13</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>17</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>21</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>25</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>29</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>13</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>17</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>21</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>25</td> <td>お花見</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>29</td> <td>お花見</td> </tr> </tbody> </table>	月	日	行事	1	1	お花見	1	5	入所式	1	19	お花見	1	23	お花見	1	27	お花見	1	31	お花見	2	1	お花見	2	5	お花見	2	9	お花見	2	13	お花見	2	17	お花見	2	21	お花見	2	25	お花見	2	29	お花見	3	1	お花見	3	5	お花見	3	9	お花見	3	13	お花見	3	17	お花見	3	21	お花見	3	25	お花見	3	29	お花見																																																											
月	日	行事																																																																																																																															
1	1	お花見																																																																																																																															
1	5	入所式																																																																																																																															
1	19	お花見																																																																																																																															
1	23	お花見																																																																																																																															
1	27	お花見																																																																																																																															
1	31	お花見																																																																																																																															
2	1	お花見																																																																																																																															
2	5	お花見																																																																																																																															
2	9	お花見																																																																																																																															
2	13	お花見																																																																																																																															
2	17	お花見																																																																																																																															
2	21	お花見																																																																																																																															
2	25	お花見																																																																																																																															
2	29	お花見																																																																																																																															
3	1	お花見																																																																																																																															
3	5	お花見																																																																																																																															
3	9	お花見																																																																																																																															
3	13	お花見																																																																																																																															
3	17	お花見																																																																																																																															
3	21	お花見																																																																																																																															
3	25	お花見																																																																																																																															
3	29	お花見																																																																																																																															
 <p>毎月一回、医師の往診や歯科診察、散髪も行っています。年に一度の健康診断や予防接種も行っています。</p>	<p>一日のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 9:00 送迎車着 9:15 手洗い、バイタルチェック、水分補給 9:45 朝礼・口腔体操・ゴム体操 10:00 午前の活動：機能訓練、音楽療法、入浴等 12:00 食事 13:00 歯磨き・休憩 13:30 午後の活動：個別活動、外出、入浴等 15:00 休憩、談話 15:30 帰宅準備 15:45 終礼、送迎車出発 																																																																																																																																
<p>食事・トイレ・お風呂・車庫の紹介</p> <p>食事形態 ・経口摂取・胃管、胃瘻のみ ・普通食・あられ餅・おか・ミルクペースト ・アレルギー対応(除去・代用)</p> <p>トイレ ・車椅子用トイレ、男子用トイレ、洋式トイレ、ペッドでのおむつ交換</p> <p>お風呂 ・介助可能浴槽きずな1号館 ・ユウラック ・大浴槽(きずな2号館のみ) ・機械浴(きずな2号館のみ)</p> <p>車庫 ・キョウシ(きずな1号館) ・シエンタ 1台(車椅子1台可) ・バレット 1台(車椅子1台可) 乗用車4台等 種数台で送迎を行っています。</p>	<p>2023年10月 献立表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>月</th> <th>献立</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>10</td> <td>朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※メニューは変更になる場合があります。</p>	日	月	献立	備考	1	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		2	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		3	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		4	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		5	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		6	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		7	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		8	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		9	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		10	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		11	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		12	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		13	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		14	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		15	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		16	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		17	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		18	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		19	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		20	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		21	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		22	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		23	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		24	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		25	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		26	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		27	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		28	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		29	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		30	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート		31	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート	
日	月	献立	備考																																																																																																																														
1	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
2	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
3	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
4	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
5	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
6	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
7	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
8	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
9	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
10	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
11	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
12	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
13	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
14	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
15	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
16	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
17	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
18	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
19	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
20	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
21	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
22	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
23	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
24	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
25	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
26	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
27	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
28	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
29	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
30	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															
31	10	朝：白米、味噌汁、納豆、漬物、揚げ物、デザート																																																																																																																															

 <p>食事は、1号館では、出来立ての給食を毎日ご利用者個人に合わせて、形態を変え提供しています。2号館では、委託しているお弁当をご利用者それぞれに合わせて提供しています。</p>	
 <p>2号館では、トイレは、4か所あり、車椅子用や男性用もあり、それぞれご利用者に合ったトイレを使用しています。</p> <p>お風呂場は、2か所あり、大浴場のお風呂と福祉浴のお風呂に分かれています。2か所とも形衣類にもベッドがあり、広くなっています。</p>	<p>1号館では、トイレ2か所(男性用あり)、お風呂場は1か所です。</p> 
	<p>個別課題、機能訓練紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立位訓練・SRC・ストレッチ等 ・指先訓練、絵合わせ、色合わせ、プットイン等 <p>個人の課題を明確にし、スモールステップで日々楽しみながら課題に取り組んでいます。機能訓練では、理学療法士から直接指導して頂き、毎日継続して行っています。課題については、職員や他のご利用者との会話を楽しみながら、無理のないように、また、自らやりたいと思える課題を考えています。</p>
<p>個別の活動では、リハビリや個人の課題を明確にし、毎日行っています。全員でユラックを使って感覚統合やパラバルーンをするといつもみなさん自然と笑顔があふれてきます。</p> 	 <p>河村義雄さんや理学療法士に来て頂き、直接リハビリ指導をしてもらい、毎回職員がリハビリを行っています。</p>
<p>地域の交流</p> <p>桃の木カフェ 飯峰中学校 サンサンパーティ 阪南市商工会 匠のippin サラダホールつながりスペース K.27 Café</p>	
	 <p>K.27 CAFE つながりスペース</p>

3 まとめ

講演後のアンケートでは、「生活介護事業所の取り組みがよくわかった」「卒業生の様子がわかって良かった」「学校で取り組んでいた活動が継続されていて良かった」「聴覚障がい者、視覚障がい者が利用する事業所の話も聞いてみたい」といった感想や意見があった。今後もこれらの感想や意見を参考に、いろいろな事業所の方に来ていただき、講演を通して、卒業後の進路に対する教職員の理解を深めていきたい。

I. 教育活動等のまとめより

校内研修

～「身近なところで使われている応用行動分析」～

岡本 光悦 （進路支援部）

■要旨：応用行動分析の概念は、身近なところでのコンサルティングや相談時のアドバイスに使われている。法政大学文学部心理学科島宋理教授著「パフォーマンス・マネジメント ～問題解決のための行動分析学～」の内容で興味深い事例も紹介しながら、自己管理から児童生徒の指導にまで生かせる応用行動分析の手法を説明した。

■キーワード： 応用行動分析、強化と弱化、行動随伴性、25%ルール

1 実施日時と対象

- (1) 日時：令和5年8月30日（水）
- (2) 題目：「身近なところで使われている応用行動分析」
- (3) 講師：本校教諭 岡本 光悦（特別支援教育士、心理師）
- (4) 対象：本校教職員

2 内容と資料

(1) 内容

- ①個人攻撃の罫
- ②達成目標と行動目標
- ③強化と弱化
- ④好子と嫌子
- ⑤行動随伴性とABC行動分析
(A：先行条件 B：行動 C：結果)
- ⑥派生の原理
- ⑦望ましくない行動、望ましい行動、代わりになる目標
- ⑧25%ルール

① 行動の原理について

行動の後にどのような経験が伴うかで、その行動が起こりやすくなるし、起こりにくくもなる。私た

ちは行動を変えるために、行動の前に注意をするなど試みる。それ以上に相手が何かやった後すぐにどう対応するということが大切になる。

② 行動のABC

行動問題を解決するにあたっては、行動をABCに分けて考えるとよい。Aは行動の先行事象 Antecedent、Bは行動 Behavior、Cは行動の結果事象 Consequence である。

行動の原理からすれば、問題行動を減らすためには、その行動の後に嫌な結果を伴わせるなど罰的もの考えるが、それは適切でなく、やがて行き詰まる。

バイパス手術のように、問題行動に変わる代替行動を考えて行わせることにより問題行動を減らせることができる。

③ シェイピング

一度もできたことのない望ましい行動を褒めて強化していくためには、行動の内容を分析しスモールステップに分割して望ましい行動を見つけられるようにする。そのことにより望ましい行動を育てることをシェイピングという。

(2) 資料



身近なところで使われている
応用行動分析

大阪府立岸和田支援学校
特別支援教育士・公認心理師
岡本 光悦

今日のお伝えしたいキーワード

- ①個人攻撃の罠
- ②達成目標と行動目標
- ③強化と弱化
- ④好子と嫌子
- ⑤行動随伴性とABC行動分析
(A: 先行条件 B: 行動 C: 結果)
- ⑥派生の原理
- ⑦望ましくない行動、望ましい行動、代わりにする目標
- ⑧25%ルール

事例1
「夏に向けて体重を整えよう」と思ったことはありませんか
二人は同じ職場で付き合っています。
二人でケーキを食べ歩くのが趣味です。
でも二人は最近ふっくらしすぎたことを共に悩んでいます。



二人「甘いもの(ケーキ)を食べる
回数を減らそう!」「がんばろう」


上泉「友達に勧められたので今日は大丈夫
だ。食べよう」

森「仕事遅くまでがんばった」「今日は御
ほうびよね。」

上泉「金曜日だ飲みに行こう。」「締めは
ケーキだ。」

二人「夏用の服が苦しいな。」「二人とも、やはり意思の弱い人間か
も。」

事例2
朝起きるのがつらいことはありませんか。夜更かし癖があるあきらさんは、今日
ついに仕事を遅刻しました。
上司からきつく叱られたあきらさん。
今日は早く寝て、明日は遅刻しないでしょうか。



「ゲーム10時にはやめよう」
「負けたもう一回やろう」

「お風呂入ったらもう11時だ、でもプレ
ゼンの資料のおさらいがあった。やらない
と。」

「今日は11:45から楽しみにしていた
よるドラだ。生で見たいな。」

友達と飲みに行った。帰ったらもう12:00だな。でも、洗濯しないと
相変わらず、あきは後悔してばかり、遅刻はないものの忘れ
物をしちゃった!



「やろうとしたこと」がうまくいかないとき、我々はその原因を他人や自分の性格や能力、やる気や適性のせいにして、問題解決のためのアクションをとっていないことありませんか。

これを①「**個人攻撃の罠**」といいます。

自分自身のせいにして落ち込んだり、上司や仲間、先輩、後輩、先生、友達、家族などへも責任の所在を探して、問題解決のためのアクションをとらない。

この罠に嵌まっているかぎり問題は解決しません。罠から抜け出すには発想の転換が必要です。

ワーク1
「**個人攻撃の罠**」にハマったことないでしょうか。ひょっとしてあれはそうだったのでは、、、お隣の方と考えあってください。

受験勉強とか
トレーニングとか
クラブ活動とか
サークル活動とか
貯金とか
家族のこととか
児童生徒の指導とか

二人はどうしたか、(個人攻撃のわなからのがれるには)「行動分析とマネジメント」という本を読み、体重を整える作戦を考えた。

二人で最終的に何を達成したいかという②**達成目標**(やせる)とそのためにすべき**行動目標**(運動をする)を決めた。

ケーキを食べるのは大好きなので減らせれない。毎日ジョギングを15分、腕立て伏せを20回、腹筋20回をするという行動目標を二人で立てた。行動目標をLINEに記録してお互い共有しよう。励みになるね。

ストレスでお菓子を食べてしまうなど、少しくじけた。二人で話し合いをした。運動をした後だけお菓子を食べて良いこととして、LINEで記録を共有した。

さて果たしてうまく成功が続いたでしょうか。

二人が読んだ「行動分析学とマネジメント」の本にはどんなことが書いてあったでしょうか。

③**強化の原理**
行動することで、何か良いことが起こったり、悪いことがなくなったりすると、その行動は繰り返される。

④**好子と嫌子**
行動を**強化**する“何か良いこと”を**好子**という。

ご褒美のケーキ → **好子**
ご褒美のケーキを食べることは運動することの好子といえる。運動もせずにケーキを食べることは止めようという意思の力も好子と言える。ただ数多くある好子のたった一つではない。

行動を誰かに注意されたり、嫌なことが起きると行動が減少する。そのことを**弱化的原理**および**嫌子**という。

A: 先行条件	B: 行動	C: 結果
休憩時間になった。 食後に。 寝る前に。 風呂上がりに。 医師が「たばこ吸いすぎです。」	タバコを吸う タバコを吸う タバコを吸う タバコを吸う 帰りは吸わない	ほっとした。緊張ほぐれる↑ おいしい。幸せだなあ↑ おいしい。幸せだなあ↑ おいしい。幸せだなあ↑ 健康にわるいな。↓

二人が行動分析のマネジメントで考えたことを整理。
C: 結果に好子がたくさんそろっています。

A: 先行条件	B: 行動	C: 結果
仕事から疲れて帰ってきて	運動をする	より疲れる↓ 体重減少↑ 結果のグラフが良い↑ 目標の達成感↑ ご褒美のケーキ一つ食べる↑ 二人でLINEで話せる↑

派生の原理
このように運動することが好子として働いて、その結果さらに自分にとって好ましい結果が起こることで、二人の仲ももっとよくなることでですね。

学校での教員と児童生徒の関係、家庭での保護者と子どもの関係も、好ましい行動が増えることでお互いの関係も改善できることが多いです。

このことを⑥**派生の原理**といいます。

好子をしっかり設けるよう計画できることが他のことにまで良い結果を招くことができます。

ワーク2
応用行動分析では行動目標を考えて、その行動を強化する好子になる先行条件や結果をたくさん考えて問題解決を探ります。事例の2あきらさんから相談を受けました。A: 先行条件での工夫、B: 望ましい行動目標、C: 良い好子になる結果のいずれかからのアドバイスを考えてみてください。

A: 先行条件	B: 行動	C: 結果
家に帰って夕食、入浴後好きなテレビを見たり、ゲームをしよう。	朝、起きるのが遅くなる。	上司より遅刻の注意↓
<好子となる先行条件を考えてください。> テレビやゲームを友達にあげてしまう。	行動目標は「ペットを飼って朝散歩に行く。」 「遅刻気味の同僚と毎朝電話で起こしあう約束をする。」	<好子になる結果を考えてください。> 「ありがとやすかったわ」と感謝される。明日は私の番ね

弱化的原理で解決を考えないように!。

弱化的原理
行動することで、何か悪いことが起こったり、良いことがなくなったりすると、その行動は繰り返されなくなる。

ペアレントトレーニングやティチャーズトレーニング
ADHDなどの子どもは厳しくしかられがちで、自尊感情が弱いことが多い

望ましい行動
困った行動を分析して、代わりに望ましい行動を考える。

ワーク3
25%ルールを使って 先行条件、望ましい行動、結果を考えて実際の指導のアドバイスを考えよう。

A: 先行条件	B: 行動	C: 結果
授業中 ↑ 何か子どもに事前に指導します。	さとしくん、おしゃべりをする ↓ 望ましい行動目標を考えてください。	先生から注意↓ ↓ さとしくんのやる気が起こる結果を考えてください。

ワーク3
25%ルールを使って 先行条件、望ましい行動、結果を考えて実際の指導のアドバイスを考えよう。

A: 先行条件	B: 行動	C: 結果
授業中 ↑ 手を上げたら真っ先に当てるよ。	おしゃべりをする ↓ 望ましい行動積極的に手をあげ発言	先生から注意↓ ↑ 先生から褒められる↑

ワーク4
ある小学校の児童はADHD（注意欠如・多動症）の児童は、時折掃除道具箱の上によって担任の教員としてはヒヤヒヤしてしまいます。そのような行動を減らしたいです。みんなで対策を考える会議に参加しました。先行条件での対策、望ましい行動、結果を考えて実際の指導のアドバイスを考えよう。

A：先行条件	B：行動	C：結果
休み時間中、掃除道具箱を見る。 ↑ 何か子どもに事前に指導することを考えてください。	上る ↓ 望ましい行動目標を考えてください。	みんなを見下ろして気持ちいい！ 「降りたら？」と友達の注目を浴びる！ ↓ 児童の自尊心が高まる結果を考えましょう。

ワーク4
ある小学校の児童はADHD（注意欠如・多動症）の児童は、時折掃除道具箱の上によって担任の教員としてはヒヤヒヤしてしまいます。そのような行動を減らしたいです。みんなで対策を考える会議に参加しました。先行条件での対策、望ましい行動、結果を考えて実際の指導のアドバイスを考えよう。

A：先行条件	B：行動	C：結果
休み時間中、掃除道具箱を見る。 ↑ 休み時間、先生のお手伝いをしてくれない。	上る ↓ 生成と一緒にプリントを並べながら、お話をする。	みんなを見下ろして気持ちいい！ 「降りたら？」と友達の注目を浴びる！ ↓ ありがとう助かるわ！ ほめられてうれしい！ 先生次は何手伝おか？

引用文献は以下の通りです。ご清聴ありがとうございました。

「パフォーマンス・マネジメント
問題解決のための行動分析学一」島宋 理 著
第4章 体重のマネジメント より
2000年鳴門教育大学教育実践センター 助教授
2006年法政大学文学部心理学科 教授

「保育士教師のためのティーチャーズトレーニング」中央法規

3 まとめ

応用行動分析が、カウンセリングやコンサルティングにおいても使われている事例を紹介して、自己管理や業務管理、われわれの本務である児童生徒への指導にも生かされていることを紹介することができた。

引用・参考文献

- 「パフォーマンス・マネジメントー問題解決のための行動分析学一」 島宋理著
「保育士教師のためのティーチャーズトレーニング」 中央法規

I. 教育活動等のまとめより

自主研修

～「児童生徒の実態から支援の方策を考えるために行うアセスメントの手順について」～

岡田 香奈子 住本 千寿（進路支援部）

■要旨：この自主研修は、本校のリーディングスタッフが中心となり、泉南地域におけるセンター的機能の向上を目的に、夏期休業中に本校の職員を対象に実施したものである。児童生徒の実態からアセスメントをする手順の一例を挙げ、グループで話し合いながら、支援の方法を考え、提案し合う形でそれぞれの考えを共有した。

1. 実施日時と対象

- (1) 日程：令和5年7月20日(木)
- (2) 題目：「児童生徒の実態から支援の方策を考えるために行うアセスメントの手順について」
- (3) 対象：本校教職員（希望者）

2. 一例として挙げたアセスメントの手順（写真1）

- (1) 児童生徒の実態がわかるような言葉に着目する

地域の小中学校等の先生方から出される、児童生徒について書かれた相談票等から、本人の実態がわかる言葉（学校生活の様子や特性等）にラインを引く。（例：暴言・暴力がある、学習に対する意欲が低い、ダンスなど身体を動かすことが好き等）記入されている内容は、ある程度整理されているが、項目別に本人の様子がわかるフレーズが散らばっているため、ラインを引くことで着目しやすくなった。

- (2) 児童生徒像を短い言葉でまとめる

グループにおいて、(1)を根拠に本人像を短い言葉でまとめ、それぞれ付箋に書き出す。（例：人との関わり方がわからない、言葉に敏感など）それを他グループとも共有する。グループ内で根拠を基に本人像を言語化することで、特性等がわかりやすくなった。

- (3) 児童生徒が困っていることは何かを考える

(2)で話し合った本人像をもとに、学校生活で困っているだろうことを推測する。（例：発散方法がわからない、安心できる場所や人が少ない等）本人が困っていることに、支援者が目を向けることで、今後の手立てにつながった。

- (4) 教員が困っていることを推測する

相談票等から学校生活において、本人が困っていることをもとに教員も困っていることを推測する。
または、目標達成のためのプロセスや優先順位を整理する。

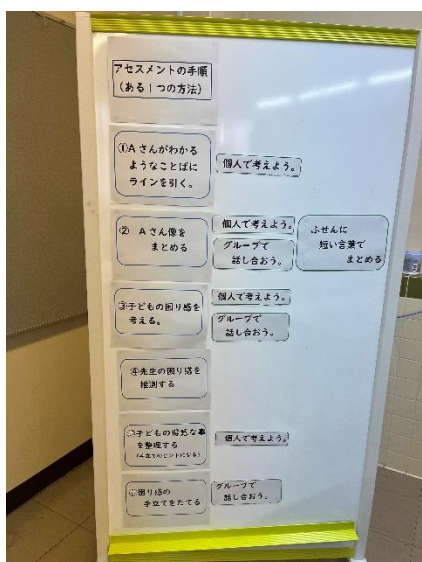
(5) 児童生徒の得意なことを整理する

本人の欠点を補うのではなく、得意なことを伸ばす観点で、支援の手立てを考えるため、得意なことや興味関心のあることを挙げる。

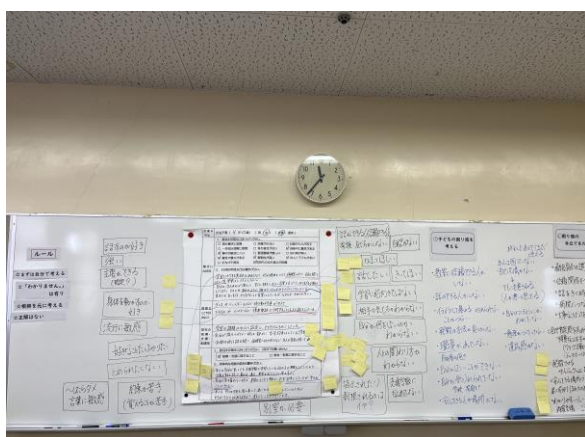
(6) 支援の手立てを立てる

(3) で挙げた本人が困っていることを解決するための手立てを考える。その際、(5) で整理した本人の得意とすることや興味関心のあること、あるいは特性等を考慮して支援の手立てを考える。また、失敗から学ばせるより、成功体験から、「このやり方ならできる」と本人が実感できる経験を積むことをめざす。

上記(1)～(6)を3～4名のグループで話し合い、その結果を全体で共有しながら進めた結果、様々な視点から児童生徒の実態をつかむことができた。意見を共有することで、たくさんの支援の手立てを考えることができた(写真2)。また、一人で考えるのではなく、相談しながら考えるプロセスを実践できた。



(写真1)



(写真2)

3. まとめ

今回の自主研修には、14名が参加した。実施後のアンケートでは、「今回の自主研修に参加して学べるがあった」という回答が13名であった(無回答1名)。また、今回の自主研修に期待していたこととしては、「他の教員の視点を知ること」「アセスメントの進め方について学びたい」「合同相談会に参加するにあたっての準備」などの意見が多かった。「今回の自主研修を受けて、アセスメントできそうか」については、「できる」が12名、「わからない」が1名、無回答が1名であった。その理由については、アセスメントの手順が分かったという意見がある一方、相談票など間接的なものだけでは実態はつかみき

れないという意見もあった。しかしながら、アセスメントを複数の視点で行い、支援の手立てを考える実践については有意義であったと考える。

尚、今後取り上げてほしいテーマについては、発達検査に関するものや、本校の児童生徒を対象にした事例研究的なもの、肢体不自由児への支援の経験に基づくものなどが挙げられた。

Ⅱ. 実践報告〈事例研究〉〈事例研究研修会〉

1. 研究の趣旨

一昨年度から本校では事例研究を行っている。例年、各学部で学部研究として研究授業を行っていたが、学部を超えて、教員同士で授業について研究協議などを行う機会がなかった。また、本校は肢体不自由校であり、自立活動を主とした教育課程の児童生徒が大半を占め、運動・作業・言語における専門性が必要になる。そこで、福祉医療関係人材活用事業での外部講師による運動学習相談・作業学習相談・言語学習相談の指導を活用し、各学部から対象となる児童生徒を1名あげ、年5回行われる相談のうち対象児童生徒の指導を3回行い、指導方法に関してアドバイスをいただく。後日、小・中・高の各学部教員による縦割りグループを編成し、児童生徒を指導している映像を見ながら意見交換をして授業改善を行うことで、教員の専門性を高めることを目的に事例研究を実施することとした。

2. 内容と方法

(1) 研究の進め方

以下の①～④を繰り返した後、事例研究報告会を行う。

- ①外部講師の指導を受ける。
- ②指導内容を授業に取り入れて指導する。
- ③事例研究会で意見交換を行う。
- ④意見を授業に取り入れ指導する。

(2) 対象児童生徒・教員の決定

3領域より運動学習は中学部、作業学習は小学部、言語学習は高等部から選出した。

対象児童生徒は、自立活動係と自立活動担当が中心となって児童生徒を選出したのち、各学部会にて決定した。

選出にあたっての着眼として、運動学習では、歩行能力の維持向上を目標に独歩ではあるが歩行不安定な生徒、作業学習では、筋病で筋力低下が年単位で進行しているため環境設定やPSB等を工夫してADL能力の維持を図った児童、言語学習では、新しい発声やサインを身に着け、コミュニケーションの幅を広げる学習に取り組んでいる生徒を事例として取り上げることで、他学部の教員に対しても発達の過程を見通すことが可能となると考えた。

(3) 事例研究会

学部を超えた縦割りグループによる事例研究会を7月7日(金)に第1回、10月27日(金)に第2回を開いた。各グループで、外部講師から指導を受けている時のビデオを視聴し、課題や指導方法を

議論した。

(4) 事例研究報告会

一昨年度の反省から、事例研究報告会と事例研究研修会を別日に実施した。各領域の担当教員より指導及び事例研究会の報告を12月8日(金)に実施した。12月15日(金)の事例研究研修会には福祉医療関係人材活用事業での特別非常勤講師の菊野氏を招き、今年度の研究対象生徒の実態に類似する事例を挙げていただき、指導方法などの講義をしていただいた。

以下に事例研究報告会の資料を掲載する。

小学部 (作業学習)	
児童生徒名	6年 A・S
P,O,S の区分	O(作業学習)
実態	先天性福山型筋ジストロフィーで筋力や関節が弱く、自力で肘を上げて腕を動かすことが難しい(机に置いた肘を起点に動かすことは可)。肘と指関節が屈曲しており、真直ぐ伸びない。また、腕の回内回外ができない。指は中指と薬指が固く、比較的動かしやすい親指、人差し指、小指を使って掴み操作することが多い。普段の活動に対して自分なり工夫して手腕を活用しており、わりと細かい作業でも取り組んでいる。
課題・内容	・給食時は、自分でスプーンを持って食べているが、身体を傾け左右に振る勢いで手を口まで運んでいる。本人が楽に食べられるためには、どのような補助具や支援が必要か。また、作業学習としてどのような活動や教材に取り組んでいけばいいのか。
学習目標	・身体への負担が少ない食べ方を身に付け、自分でできることは自分でして、楽しく給食を食べる。
第1回事例研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の身体的特徴と、日常生活と摂食指導時の様子や、現在の給食時の摂食の様子(動画)、これまでの介助の変遷を報告。 ・一回目の作業学習相談にて作業療法士よりいただいたアドバイスを報告(口に運ぶ際に勢いよく運んで顔と手を近づけるように食べることによって側弯が進むことが心配。勢いよく食べるのではなくゆっくり口に運んで食べる方がいい。PSBで腕を釣って食べたら側弯への負担もまだ軽減されると思う。左手は支えたり、お碗を持ったりできているのでそれは継続して取り組む。これから身体的にしんどくなってくる場所が増えてくると思うので、道具や機械などに頼っていくことも大事、等)。 ・その後動画を見た感想や、指導のアイデア、これまでの経験などをグループワーク実施。「今後のことも考えて、道具になれることも必要。」「道具は学校だけでなく家庭でも使えるものを。」「口からの距離が長いので台に置くといいかも。」「今後、軽いスプーンの利用や嚥下に注意が必要。」「飲み物はコップに移したり長いストローを使ったりすればいいのでは。」等の意見をいただいた。
第2回事例研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・一回目の作業学習相談を受けて始めたPSBを使った摂食指導の様子と、二回目の作業学習相談の様子、その時のアドバイスやPSBの調整等の報告(食べる時の左右の体の揺れや上体を動かす反動を利用した食べ方が改善されている。手首の支持ベルトもしたほうが良いので手首の支持ベルトの中に滑り止めをかませ使用。手先が下がり切れないので、給食のお盆の下に3cm程度の厚みがある段ボールを置く。調整後、対象児童も問題なく食べられている様子。その形を継続して取り組むことを確認)を動画と口頭で実施。 ・報告を受けてグループワークを実施。「PSB利用前と利用後の変化がよくわかってよかった。」「外部相談を受けて確実に良くなっている。」「スプーンの持ち方や手のひらき等々、よくなってきているのを実感した。」などの感想や、「手首サポートをリストバンド型のものにしては。」「お皿を平皿(エジソン皿)とかにしては。」「腕がふらふらして使いにくいこともあるのでは。」等のアドバイスをいただいた。

指導教員の支援の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時に PSB を設置し、対象児童が食べやすい状態になるよう担任なりに調整して、教員からの介助・支援が少なくても一人で食べられる状態に近づけた。しかし、正しい設置位置や高さ・ワイヤーの強度などが判らず、対象児童の様子を見ながら実施した。 ・再度の作業学習相談を受けて、PSB の設置位置や調整の仕方を知り、手首のベルトも使う・お盆を少し上げる等の改善をしつつ、食べる時の上半身を左右に使う様子がないか確認しながら接触指導をするようになった。 ・いくつか研究会時にアドバイスなどいただいたが、今の対象児童に必要と感じられないことについては反映させず、今後の検討課題ととらえている。
児童生徒の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・側弯への影響が心配された、身体を左右に振る動きでスプーンを口に運んでいた食べ方が、PSB を使用するようになって身体を左右に振る動きがなくなり右腕を大きく動かして食べられるようになった。「食べやすい!」「一人で食べるわ!」等自ら話し、食べることに自信を持ちながら楽しく取り組んでいることが感じられる。 ・給食準備や後片付けの時は PSB が無いほうがしやすい様子で、「これ取って!」と PSB から腕を抜くよう要求するようになった。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力で楽しくおいしく食べることを、できるだけ長く続けられるようにする。 ・掬い易いお椀やお皿を利用することと、食器全体の高さを食べやすい程度に上げる。
	中学部（運動学習）
児童生徒名	1年 I・N
P,O,S の区分	P(運動学習)
実態	<ul style="list-style-type: none"> ・独歩であるが、疲れやすく、身体が沈み込んでしまう。スクワットやハムストリングスなどの運動の継続が必要。 ・生活に関しては基本的に自立しているが、右側優位で右手だけで動作をしようとする。左手の参加を促すことが必要。
課題・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ、楽スタ、筋力トレーニング ・ラダー歩き ・小股歩き
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脚力の維持、向上を図る。 ・身体の柔軟性の向上を図る。
第1回事例研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行に対する実態を映像等で説明した上で、どのようにすれば生徒が意欲を持ちながら自立活動に参加できるかについてグループディスカッションを行う。 ・PT からの助言によって、ゲートソリューションを使用してみてもとの示唆を受けて、関係諸機関に働きかけることを確認した。
第2回事例研究会	<ul style="list-style-type: none"> ・PT からの助言にあった、ゲートソリューションの使用は諸事情があり、使用することができなかった。 ・PT から助言やグループディスカッションを受け、小股で歩くことやリュックサックをお腹側で抱え、少し前傾にすることによって、ゆっくり歩くことを意識することを確認した。 ・発表者より、対象生徒がストレッチや運動学習に対して消極的なことから、飽きさせずに参加できるようにするにはという内容でグループディスカッションを行う。

指導教員の支援の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動に関わる教員やクラス担任を中心に、本生徒に対して歩行に関する指導の統一ができて、自立活動以外の時間でも生徒に対して働きかけることができた。 ・生徒と身体の使い方を自立活動以外の時間に話すことで、対象生徒の身体の動きや日常どのようにすればいいのかをクラス教員間でも確認することができた。 ・対象生徒以外にも、他の生徒の身体の使い方について働きかけるときの参考に資することができた。
児童生徒の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗り場までの往復では、自分から意識をして小股で歩こうとする姿が見られ、意識付けができてきた。 ・身体について考える機会を得たことで、自分から考えるようになり、自立活動の時間はもちろん、給食後の生活の時間に自分からストレッチやトレーニングを行うことや、消極的だったプロンボードに立つことに対しても、自分から積極的に立つ場面がみられた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小股歩きについては、現在はバスから教室間と自立活動(PT)の実施日の教室から運動学習室への往復のみの実施なので、日常の移動に広げていくことが課題である。 ・身体の動かし方に限らず、丁寧さが欠けるところがある。

	高等部(言語学習)
児童生徒名	2年 M・N
P,O,Sの区分	S(言語)
実態	<p>起因症:脳性まひ(脳室周囲白質軟化症)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉かけを理解し、行動に移せる(例)荷物出して等 ・表出面:発声(はーい、うまい、パパ、ママ、あかん、バイバイ) サイン(おしまい、わたし、トイレ、元気等) <p>興味関心:指さしや教員の手を引いて、関りを求めることができる。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージ(下顎、首)ストレッチ(肩) ・発声練習 ・写真、絵カードを使った文章づくり
学習目標	新しい発声やサインを身に着け、コミュニケーションの幅を広げる。
第1回事例研究会	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインを使つてのあいさつ ・マッサージ・ストレッチ(舌根部・肩甲骨周り) ・歌に合わせてのサイン学習 ・本を読みながらサイン学習 <p>菊野先生</p> <p>○マッサージ・ストレッチについて現在の方法からステップアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下顎が緊張して後ろに引っ張られている <p>→下顎のつけ根のマッサージと下顎を引き出すマッサージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首周りの緊張が強い <p>→緊張を緩めることで発声できる言葉が増えることに期待ができるため頭を前方へ倒す首周りのストレッチ</p> <p>○サイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員とのやりとりを視覚化する。 <p>→コミュニケーション手段の拡大、さらに自身の気持ちを表出できるように絵・写真カードを用いてカードを組み合わせ自分の気持ちを表出する学習。</p> <p>研究会</p> <p>(サイン)日常の中で活用できる場面を設定し、毎日行えるとよい</p> <p>(サイン)朝の会などの毎日できる活動の中でサインを練習</p> <p>(サイン)卒業後、活用できるサインが増えるとよい</p> <p>(発声)あいさつができればよい</p>
第2回事例研究会	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サインを使つてのあいさつ ・マッサージ・ストレッチ(舌根部・肩甲骨周り) ・口周りのマッサージ ・写真、絵カードを使つての文章づくり <p>菊野先生</p> <p>○下顎つけ根のマッサージ・首周りを引き続き行う。</p> <p>→緊張が緩んできている。</p> <p>○舌の動きが出せるようなトレーニングを行う。</p>

	<p>→発声面で出せる音を広げるため。</p> <p>○絵・写真カードを用いた学習では3、4枚のカードを用いて練習する。選択肢を追加する (例)「私は(ごはん or パン)好きです」</p> <p>→サイン・発声を促しながら学習に取り組む。</p> <p>研究会</p> <p>(発声)今までどのように獲得してきたのか、出せる音を広めるために過程を知れたら良い</p> <p>(発声)発声したことで何かが起こる、ほめてもらう、困る場面が少ない。</p> <p>(発声)発声練習時、鏡を用意して口の形が分かったほうが良い</p> <p>(発声)発声した音を録音する。</p>
指導教員の支援の変化	<p>肩・首周りのマッサージや首の緊張を和らげる方法などのアドバイスを頂き、発声面で出せる音を広げるために様々な方法で授業を行うことができた。</p> <p>コミュニケーションの幅を広げるため、絵・写真カードを用いて自身の気持ちを表出できるように促すことができた。また選んだカードを使ってサインや発声の学習にも取り組めた。</p>
児童生徒の変化	<p>身体面:肩、首の筋肉のコリがほぐれたため、動きがスムーズになった。</p> <p>サイン:言語学習の授業では自身から出てくるサインが増えた。また HR 時には発声とサインで友だちとコミュニケーションをとることができた。</p>
今後の課題	<p>○頭を前方へ倒し、首周りの緊張を緩め発声できるようになる。</p> <p>○出せる音を増やせるようになる。</p> <p>○サインを増やす。</p> <p>○カードを使ってコミュニケーションできる。</p>

(5) 事例研究研修会

日時：令和5年12月15日（金）

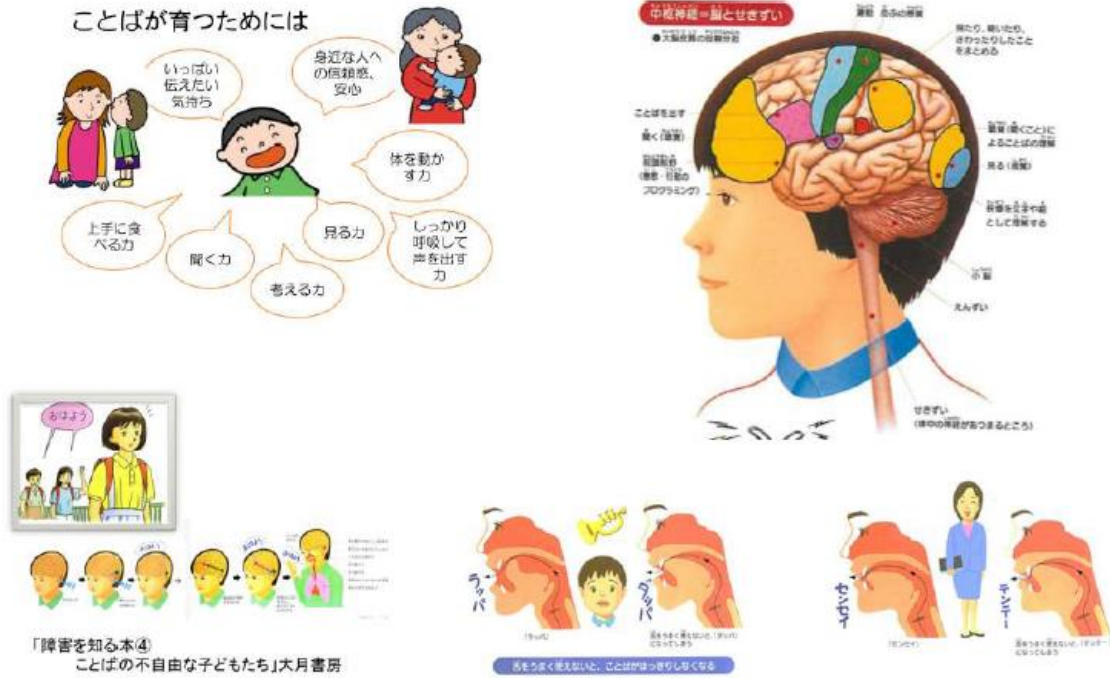
題目：「ことば・コミュニケーション ワンポイント・支援のてがかりに」

講師：菊野由紀氏（元府立東大阪支援学校教諭 言語聴覚士）

講義では、12のポイントに分けて、子どもたちの持っている能力を最大限に引き出すための支援の方法について話された。また、ことばが育つためには、ことばだけに着目するのではなく、食事や呼吸の仕方、そして身体の使い方が大事になることなど、子どもの全体像を把握しなければならないことを教えてくださった。そのためには、子どもの実態を分析する力が必要である。その方法のひとつとして、子どもを真似ること。例えば、舌をうまく使えない子どもの発音を真似ることで、舌のどこが使えていないのかを知ることができる。食事についても同様で、食べこぼしの多い子どもの食べ方を見て、同じように食べてみることで、食べこぼしの原因が理解できたりする。子どもを観察して真似る力を高める

ことが、支援の手がかりにもなることを学ぶことができた。このように今後の指導に生かせることの多い実りある研修となった。

以下に事例研究研修会の資料を掲載する。



< ことば・コミュニケーション ワンポイント・支援のてがかりに >

① 発声：口呼吸と鼻呼吸
 しっかりした呼吸 ← 体の固さ、緊張の高さ、胸郭の動き
 呼吸と発声の調整

③ コミュニケーション手段
 話しことば・ジェスチャー・絵・表情・声・視線 …
 いろいろな手段を使える方がよい

⑤ 絵カード・写真カード
 子どもが見やすい大きさ、子どもが見やすい提示の方法
 カードの並べ方…“横”より“縦”

⑥ 視覚情報、聴覚情報を子どもがより受け取りやすい条件設定で
 どの方向からどんな大きさ 等々が良いか調べる必要あり

② 発語：唇、舌、ほほ等々の動き = 食事時の口の動き

④ 発声・発語・食事等 口周りが動きやすいためには？
 肩・首・背中をほぐす
 口の周り・顔のマッサージ、顎関節をほぐす（顎がひかれている場合が多い）
 ☆水で絞ったタオルでの圧刺激、スポンジでの口の中のマッサージ、顎関節の前後運動

⑦ 子どもからの表現
 話しことば・単語・ジェスチャー・指さし・視線・声・表情・描画
 ☆より具体的に
 ☆その子どもらしい

⑧ジェスチャー・サイン・カード等でのやりとりの学習

普段の学校生活の中で使う

固執しない

⑨文字の学習

その子どもの発達の様子をみて

- ・一般的な段階的学習をすすめる
- ・単語を“絵”を覚えるように覚えて使う

⑩自立活動の時間数は限られているので、時間内で“ことば・コミュニケーション”の取り組みをするのは難しい!?

(例) SRC ウォーカーの移動時、手元に○・△・□のカード、1・2メートル離れたところに○・△・□のカードを貼り、

選んだカードを探して移動する(子どもに合わせて、2枚。写真カード、絵カード。距離も徐々に伸ばす。)

手を使う学習の時、絵カードや写真カード等のマッチング、シール貼等々

☆いろいろな場面の中で、認知面を高める学習を加える

☆ことばの学習(名前を知る。用途や特徴を知る)



⑪ことば・外言語・内言語

⑫子どもの力を引き出すのは難しい??

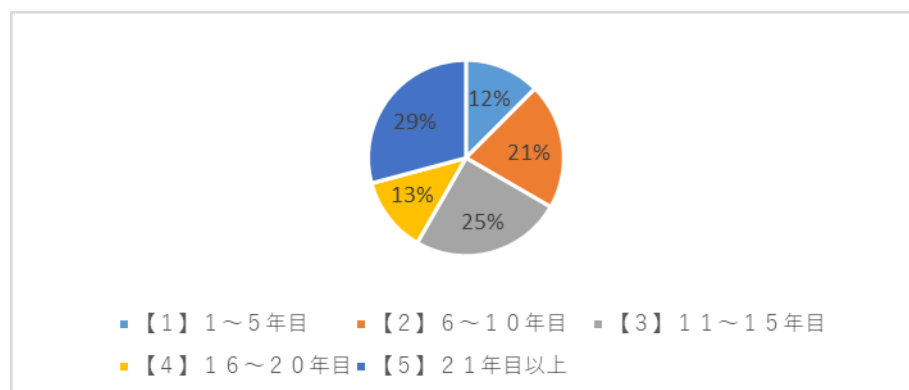
(例)「手をパンパン!」教員から子どもの手をパンパン → ちょっと待って、子どもが待っているか、

教師の方へ手を伸ばそうとするか? 話そうとするか?あるきだそうとするか? 等々

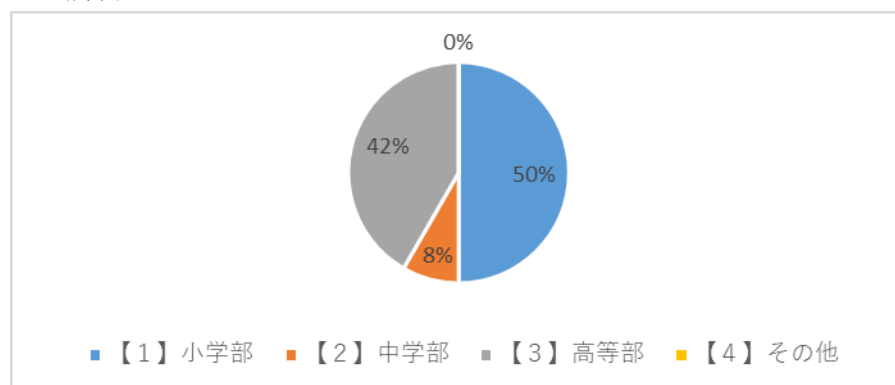
3. アンケート

事例研究報告会及び研修会についてのアンケートでは「今回の研修はあなたのニーズにこたえていましたか」「研修の内容は理解できましたか」「研修の内容は充実していましたか」「研修の学びを日々の授業に生かしたい」「今回の研修の学びを日々の授業に生かしたいと思えますか」のそれぞれの項目で、100%の肯定意見があった。

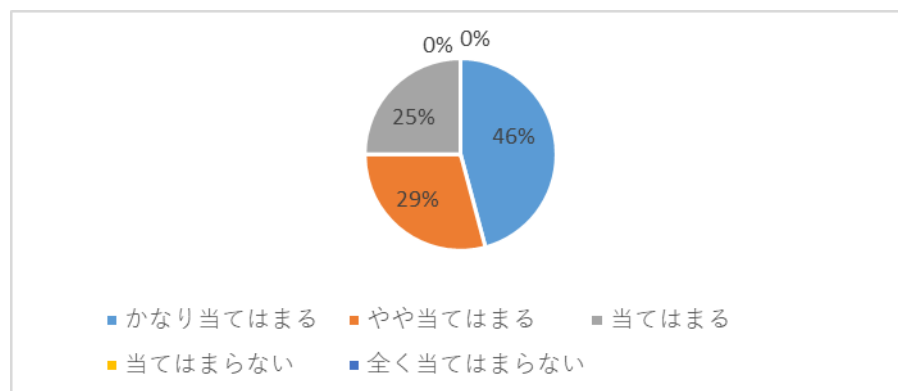
1. 教員経験年数



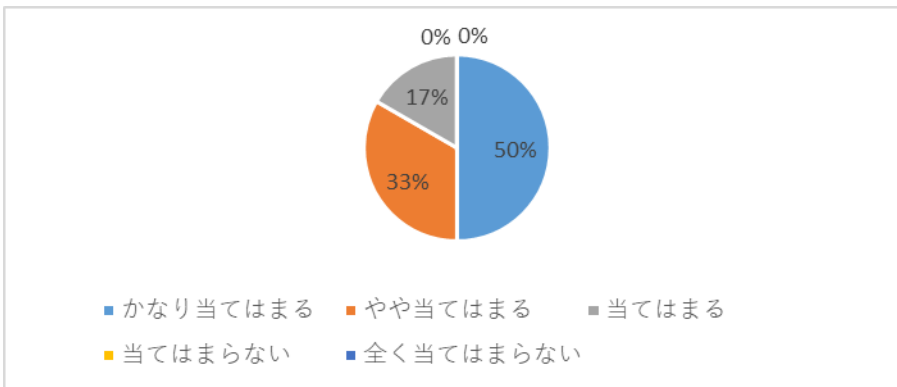
2. 所属



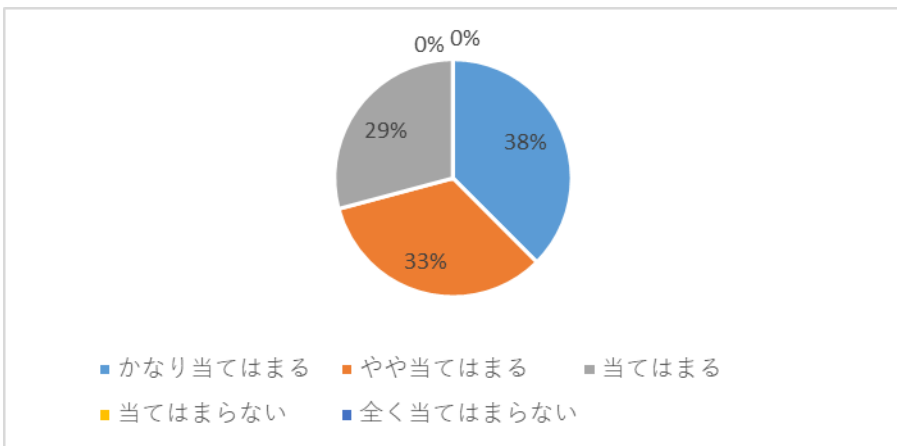
3-1 今回の研修は、あなたのニーズにこたえていましたか。



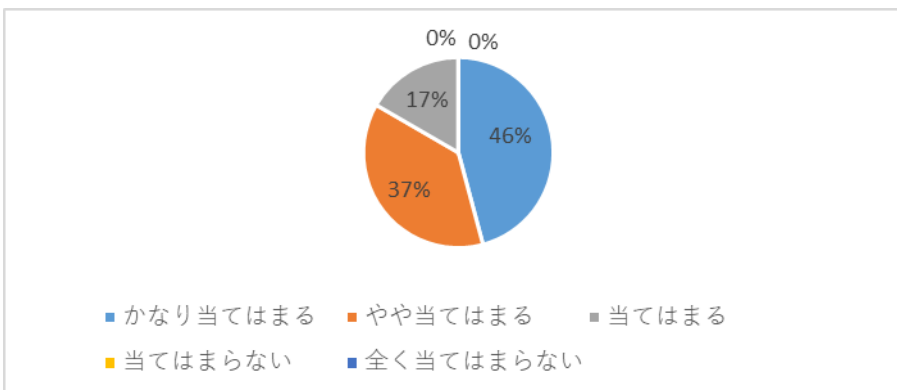
3-2 研修の内容は理解できましたか。



3-3 研修の内容は充実していましたか。



3-4 今回の研修の学びを日々の授業に生かしたいと思いませんか



4. まとめ

事例研究会では、各グループで活発な意見交換が行われた。自分が担当する児童生徒が対象児童生徒と同じような課題があり、取り組んでいる内容を共有したり指導に生かしたりすることもできた。対象教員のみならず本校教員の授業改善につながったのではないかと考える。また、連続して外部講師に相

談を受けることで、教員の学びが深まり、それが児童生徒の“わかった”“できた”につながったのではないかと考える。

事例研究研修会終了後のアンケートでは、「研修資料がとても参考になった。」や「学校の子どもたちを直接見てもらうことも多いので、大変わかりやすかった。」など研修に大変満足した感想ばかりであった。また、「授業の枠にとらわれることなくコミュニケーションの指導を進めていきたい。」、「日頃の生徒との関わりを思い返し、小さな変化や姿勢や表情から、色々な事を読み取れるようになりたい。」などの今後の教育活動に向けて意欲的な意見も非常に多かった。

今回研修の中では、本校の言語摂食相談で見ていただいた児童生徒の映像を元に説明をしていただき、身近な子どもたちが変化していく様子や関わり方への学びが深まったように感じる。

事例研究は今年度で3年目となり、自立活動（P:運動、O:作業、S:コミュニケーション）それぞれの分野で研修を行った。本校教員のニーズにこたえている研究であり、一定の成果を得ることができた。

Ⅲ 人権教育

人権研修（ハラスメントに関する研修）

川並しのぶ（人権教育委員会）

■ 要旨：

人権教育は全ての教育の基本である。教職員が人権尊重の理念を十分認識し、人権教育を推進・充実させていくことを目的として、同和問題に関することとハラスメントに関することの計2回の人権研修を実施した。うち、ハラスメントに関する研修については、地域の小学校、中学校等も含めた公開研修として人権研修を実施した。

研修後に実施のアンケートにおいては、ワーク、ディスカッションを通して自身の価値観や固定観念への気づきがあった等、研修への肯定的評価が高かった。2学期が始まるタイミングで、改めて児童生徒に向き合う姿勢を見つめ直すきっかけとなったことが窺えた。

■ キーワード： ハラスメント・人間関係・力関係・境界線・人権尊重

1 実施方法と内容

(1) 日時：令和5年9月1日（金）15：00～16：30

(2) 表題：「学校生活におけるハラスメント防止」

(3) 講師：NPO法人えんぱわめんと堺 代表理事 北野真由美氏

(4) 実施方法：

講義を中心に、4人程度で編成したグループによるワークショップで参加型・体験型人権研修を実施。悉皆研修として実施。

(5) 内容：

人権意識の向上によるハラスメントのない学校環境づくりをねらいとし、感情の扱いや他者との境界線、多様な性の価値観についての講義と「協力」「尊重」をテーマにしたワークショップについて研修した。ハラスメントについては、職場や学校における立場等のさまざまな“力”の中で、対価型と環境型の2つに分類されるハラスメントが生じることや、“特権 (Privilege)” についての考え方、捉え方について学んだ。“ふつう” であることや“あたりまえ”を問い、変えていくことで、ジェンダーと力関係について、社会的・文化的差別が支配・暴力につながりやすいことについても認識を新たにした。

多様な性の価値観については、ワークショップを通して、「どのような性の価値観が存在するのか」、

「自身の身についていることへの自覚」への気づきが促された。
わたしたちの気持ちはわたしたち自身の固有のものであり、ハラスメント防止のために一人ひとりの境界線を確認することが大切であることが共有された。

2 まとめ

研修後にアンケートを実施し、効果や理解度等について集計した。
自由記述による研修後の気づきや感想等の一部を掲載し、まとめとしたい。

【 令和5年度人権研修（ハラスメント）アンケート 自由記述まとめ 】

- ・ ハラスメントのことだけでなく、人権ということについてよく理解することができたと思います。ワークもおもしろく、人権というものを堅く考えず、取り組みやすかったです。川を渡る話も自分の心の底にある固定観念のようなものを認識することができ、アップデートが必要だと思いました。

北野先生のファシリテーターとして能力の高さとスキルも勉強になりました。

- ・ ワークが多く、ディスカッションするのが楽しかったです。自分の日常の当たり前の価値観に気づいて、変えていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 外部からの参加です。ぜひ自分の学校でも研修してもらいたいです。
- ・ 講師としてとか、エンパワメントとして、というところを超えて1人の人として熱意を持ってエネルギーにお話して頂いた事で、グループの討議も盛り上がったと思いました。本気で話しかけるって大事なあって思いました。

2学期を迎える前にエネルギーをもらったと感じました。ありがとうございました。

- ・ 最後のドナの課題は、1人ひとり捉え方が違うこと、男女が入れ替わることで全く異なることをまざまざと実感できた貴重な体験でした。

普段の何気ない言葉にひそむハラスメントにも気づけました。

- ・ 川の話*が面白かった。研修の後も皆で話しあいをしました。
- ・ 無意識のうちにジェンダーで決めつけているところがあると感じた。昨年に引き続き、講師をして頂き有り難かった。

普段何気なく言っている言葉についても考えさせられる内容だった。

- ・ あっという間の90分でした。グループワークで話をした後に、研修の場によって回答の傾向があるということを知り、確かに職業柄というか、属する集団等によって考え方の癖が出ることもあるかもしれないなと思い、興味深かったです。
- ・ 北野先生のお話を参考に、子どもたちのからだの話、性の話なども取り入れていきたいと思えます。人権のお話、自分を大切にすること、子どもたちにどう伝えるか、難しく考えすぎず、いろいろな切り口があるなと改めて学びました。また、いろいろな活動をされていることを知り、情報を得て学んでいきたいと思えます。

川の話*

立場の異なる男女5名が登場するある物語について、許せないと思う順に順番をつけ、その理由も併せてグループワークで討議した。

価値観の異なる人との対話は感情を揺さぶられることや、社会的についてくる性差（地域性もある）により、性の価値観は個々に多様に身につけていることなどを実感する機会となった。

校内研修

「学校生活におけるハラスメント防止」

NPO 法人えんぱわめんと堺/ES

北野真由美

- はじめに
- 研修のねらい
 - 人権意識の向上
 - ハラスメントの無い学校環境とは？
 - ワークショップで相互理解 「協力」「尊重」
- ハラスメントを考える
 - 同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為です。
- なぜ、ハラスメントがおきるのか
 - 力関係は暴力をおこしやすい
 - 社会の中での力関係
 - “ふつう”であること
 - ジェンダーと力関係
- 多様な性の価値観
 - 対立の構造
 - 感情の扱い
- ハラスメント防止のために
 - 性の自立と境界(線)
 - わたしの境界(線)あなたの境界(線)
 - 境界線によるトラブル
- 学校生活におけるハラスメント防止
 - 人権尊重
 - 境界線の確認
 - お互いを理解するためのコミュニケーション
 - 相談対応では
- おわりに

傾聴のポイント

- 心を相手に向ける
- 身体全体で共感を表しながら
- 質問しない

暴力とは、「力のある者」が「力のより弱い者」に対して、その自由を奪い、支配あるいは管理するために行使する影響力すべてを言う。その結果、「力のより弱い者」に不当な不利益が生じることが人権侵害。「力」あるいは力関係があることが悪なのではない。しかし、「力」のある側が、その力を使って弱者の人権に踏み込むことが危険。力のある側がその行使を間違わないためには、どのような配慮が必要なのだろうか。

(『いっしょに考えて！人権』(ERIC)より)

よく説明に用いられる定義

- セックス (sex) ……
- 生物学的性差
- ジェンダー (gender) ……
- 社会的・文化的性差

二次被害への危険性

- ① たいしたことないのではないか
- ② 興味本位の関心
- ③ 加害者への同情
- ④ 被害者の行動を責める
- ⑤ 解決を急ぐ

校内研修

学校生活におけるハラスメント防止

NPO法人えんばわめんと堺/ES
北野真由美

1

はじめに

【NPO法人えんばわめんと堺/ES】

子どもの人権を尊重し、子どもおとなも自分を大切に安心して生きることができる地域社会づくりに貢献する。おもに、就学前の子どもから小・中・高の学校現場で、さまざまな子どもの課題に取り組む。人権教育を中心に、多様性教育や性についての課題に対してなど人間関係づくりにいるプログラムをエンパワメントの関わりで展開。教育関係はもとより、行政関係、企業、福祉医療など、さまざまな年齢層を対象に実施している。



【北野真由美】

NPO法人えんばわめんと堺代表理事
子どもの権利条約関西ネットワーク副代表、
大阪多様性教育ネットワーク
大学非常勤講師、府立高等学校非常勤講師



養育目標: 2女児・中3男児 (結婚)

研修のねらい

- 人権意識の向上
 - ・自分の力を自覚する。(特権)
 - ・特権について考える
- ハラスメントのない学校環境をめざす
 - ・自他ともに人権尊重した対応をめざす。
- ワークショップで相互理解 「協力」「尊重」

3

学びのスタイル

ワークショップ Workshop

工房・作業場

ファシリテーター Facilitator

促進役・活性化につなげる人

なぜ、今参加型なのか？

“わかる”と“できる”の違い

「答え」は一つではない
「問い」による
反応・感覚・気持ち・揺らぎ

からだ

・行動・言動・表情など

こころ

・感情・気持ち・思い

あたま

・知識・考え

ハラスメントの定義

同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為です。 厚生労働省

●対価型ハラスメント

職場や学校における立場や上下関係を利用して、下位にあるものに対する責務を強要するもので、「性的な要求を受け入れれば高評価を与える、昇進させる」「言うことを聞かないなら〇〇はしてあげない、×させる」などがある。

●環境型ハラスメント

はっきりした不利益を伴わなくても、性的な責務を繰り返すことで働く環境を悪化させるもの。また大声で怒鳴ったり、恐怖心を与えることだけで萎縮させる環境をつくりだすもの。また抱きついたり、胸を触ったり、女性にお酌を強要したり、結婚や出産のことを尋ねたり、わざと話題にしたりする。

5

なぜハラスメントは、起きるのか

- ・さまざまな力の中で
- ・力関係は暴力を起こしやすい



社会の中での力関係 特権(Privilege)

わたしたちのほとんどは、社会的な立場にもなつてながらの特権を持っています。多数派・主流派としての側面から得ている社会的有利性がある、ということです。

特権を持っている、有利性がある、といわれても実感がない、と思われるでしょうか。その「実感がない」ことが、まさに特権なのです。少数派・非主流派の側は、自分の立場や不利であることをいやおうなく意識させられている。それを裏返していうと、多数派・主流派の側の立場には特権がある、と言えるわけです。

例を挙げてみましょう。

特権(Privilege)を考える

*車いすを使用している障害者は移動の自由が制限されている場所がまだまだ多い。健全者は自由に移動できるという特権がある。

*同性愛がからかいの対象となったり、おもしろおかしく扱われる場面は身の回りにしばしばあるので、同性愛者は自分の性的指向を意識せざるを得ない。異性愛者は、自分の性的指向を自然であたりまえのこととして、特別に意識しないという特権がある。

*少なくとも今の社会では、結婚に際して女性は姓を変えることにともなう手続きなどの負担が、姓を変えないでいるのはなぜかと尋ねられる負担がある。

男性は結婚に際して、姓についてわずらわされることはない、という特権がある。

*部落出身者は、親しくなった相手に、自分の出自を知らせるかどうか、知らせないことが隠れていると思われないか、知られたら関係がどう変化するか、といったことを考える。さらに、そうしたことを信問せずいられたる特権がある。

部落出身でない人は、そうしたことを信問せずいられたる特権がある。

【「わかってよよ」といふ人権 - 経済新聞「ワグマン」(大阪府人権協会 編集出版部、2012年)】

特権(Privilege)を考える

- *車いすを使用している障害者は移動の自由が制限されている場所がまだまだ多い。
健全者は自由に移動できるという特権がある。
- *同性愛がからかいの対象となったり、おもしろおかしく扱われる場面は身の回りにしばしばあるので、同性愛者は自分の性的指向を意識せざるを得ない。
異性愛者は、自分の性的指向を自然であたりますることとして、特別に意識しなくてもいい特権がある。
- *少なくとも今の社会では、結婚に際して女性は姓を変えることにともなう手続きなどの負担が、姓を変えないでいるのはなぜかと尋ねられる負担がある。
男性は結婚に際して、姓についてわずらわされることはない、という特権がある。
- *部落出身者は、親しくなった相手に、自分の出自を知らせるかどうかが、知らせないことが隠れていると思われないか、知られたら関係がどう変化するか、といったことを考える。さらに、そうしたことを考えるのは神経質すぎる、と言われることもある。
部落出身でない人は、そうしたことを煩悶せずにいられる特権がある。

“ふつう” であること

- ★ある雑談をしていた時…Aさんが同性愛者について差別的な言葉を言った。それに対して
- B「そういう言い方は、よくないと思う。性のあり方はさまざまだから」
- A「もしかして、あなたも同性愛なん？」
- B「ちがうよ、わたしはふつうやけど」

“普通であること”は、差別しないで生きていくことの保証なのだろうか。……普通であること”は、決して私たちに“差別をしない”保証を与えるものではない。むしろ、そこに安住することで、世の中にある差別は、確実に生き延びて、育っていくだろう。つまり、私たちが深く考えることなく“普通に安住すること”は、差別にとってこのうえなく良い“こやし”となるのだ。

出典：『差別意識 (わたしのなかの種)』田中一歩著、2007年(平成19年)より改題 発行：平凡社

あたりまえを問い、変えていく

まず、女の子、男の子を教えるんです。「男の子立ちましょ」「女の子立ちましょ」と声をかけ、「男の子立ちましょ」と言った時に、<出生時に割り当てられた性別>が女の子とされてる子どもが立ったら「あなたは女の子でしょ」と教えるんです。



「じぶん、まじまじ！」田中一歩著 解放出版社

「女の子、先にトイレに行きましょ」と言った時に、<出生時に割り当てられた性別>が男の子とされてる子がトイレに行こうとした。すると先生が、「あなたは男の子だから、まだよ。おちんちんあるでしょ」って言ったんです。そして、その先生は、その子に「パンツのなかを確認までさせていて…(中略)」

ジェンダーと力関係

性暴力

社会的・文化的性差が支配・暴力につながりやすい

「男だから……」「女だから……」

「女らしさ」「男らしさ」

セクシュアル
ハラスメント

無自覚に身につけている 性の価値観

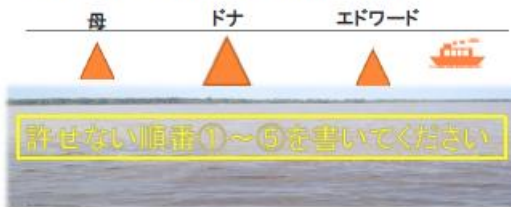
力関係による支配

恋愛は支配関係？ 権力関係？ ……

デートDV

愛情=束縛ではない

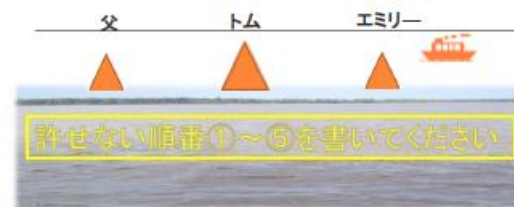
多様な性の価値観 (川の話より)



** 5人の登場人物がいます **

ピーター シャルル

多様な性の価値観 (川の話part2)



** 5人の登場人物がいます **

ピアンナ シンシア

性の価値観

- ・どのような性の価値観があるのか？
- ・身につけていることへの自覚

「これは奇妙な逆説のように聞こえるかもしれないが、人はありのままの自分が受け入れられたときに、初めて変わることができるのだ」 心理学者カール・ロジャース

性の価値観が、
変わる時…？

平和的な関係性を築く

「ぼくは正しい」 × 「私の考えの方が良い」

多様な社会において、意見・考え・価値観は、人それぞれ違います。また人は、それにもなる立場を持ちながら多くの人と関わります。さまざまな意見や考え、価値観の違いが多くの感情を引き起こします。自分の中に起こる感情の扱いも重要ですが、対立を恐れず、相手を傷つけないコミュニケーション力が、平和的な関係性を築いていくと考えます。

対立(行動)

感情

価値観

わたしの気持ちはわたしのもの

自分の気持ちとじょうずにつきあおう

★自分の気持ちを人のせいにならない

悲しい・寂しい・イライラ、ムカつく
そんな時・・・

大きく深呼吸・音楽・趣味など・・・

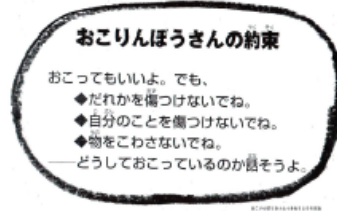
参考「心をしずめる24の方法」

★人の気持ちを引き受けすぎない

なぜ？こんな気持ちになったか振り返る

わたしの気持ちはわたしのもの

自分の気持ちを他人のせいにならない
他人の気持ちを引き受けすぎない



ハラスメント防止のために

聴く

いじめ、いじり・・・ハラスメント

どこから暴力になる？

受け側が、不快になる方向へ進んでいく時・・・

受け側がどう思うか？ **受け側の気持ち**

遊びや笑いからも、やってくる

傍観者の行動態度も加害者側になっていないか？

「冗談のつもり・・・」「何、むきになってるの？」

怒らせるな！ 機嫌を悪くさせるな

「空気をよめよ！」「場がしらける」など

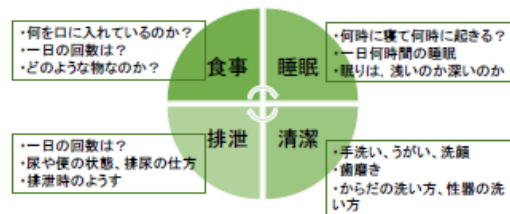
傍観者の
態度行動

場（世間）の空気

健康教育・性の自立

わたしの“からだ”はわたしのもの

わたしの“きもち”はわたしのもの



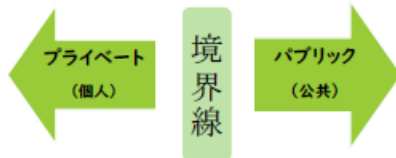
一人ひとりの生命と存在はたいせつ

一人ひとりの境界線

境界線：私にとっての

【ここちよい距離・空間】

お互いが安全で心地よくすごせるよう、自分と相手との間に引くライン。



わたしの境界線・あなたの境界線

自分のもの	みんなのもの
自分のからだ	研修用の机・いす
自分の気持ち	研修室・自販機・社内の掲示物・・・
自分の持ち物（スマホ・データ？）	
自分の過去・時間	スマホなどのデータは？

境界線によるトラブル

- 1、金銭トラブル
- 2、ネット乱用 一方的な言葉の暴力
掲示板などに誹謗中傷
LINEでの排除、集中攻撃
- 3、写真、動画の悪用
撮影した写真や動画を回す
- 4、個人情報の露出(プライバシーの侵害)
- 5、性暴力被害

境界線の
侵害

「わたしはわたし」お互いを尊重する関係

学校生活におけるハラスメント防止

人権を尊重する

境界線を確認する

お互いを理解するための
コミュニケーション

相談対応では

- ①気持ちを尊重する
- ②二次被害にならないために
- ③何ができるかを一緒に考える

IV. 校内教材交流会

1. 目的 教材や実践の紹介、交流を行う場として開催する。
日頃の実践のまとめの場や、今後の実践に役立てる場とする。

2. 教材コーナー・・・表-1★マークの教材について、写真をまじえてコーナー紹介をする。

表-1 教材コーナー開設表

学部	教科	教材名
小学部	せいかつ	あめふりくまのこ
	★せいかつ	ぼうしころころの牛乳パックぼうし いもほりあそびの畝
	せいかつ	プラカップで野菜を育てよう
	★自立活動（て）	歌って、触れて、転がすサイコロ
	ずこう	ぼくの画板を作ろう
中学部	★保健体育科	キックターゲットビンゴ
	★音楽科	楽器を鳴らして曲を進めよう
	課題	赤い風船
高等部	国語科	年賀状を書こう
	美術科	羊毛フェルトのさかな

(1) 小学部せいかつ…いもほりあそびの畝

絵本『いもほりよいしょ』の読み聞かせをしたあと、畝に見立てた箱からツルを引っ張って
いもを引き抜く活動に取り組みました。

葉っぱは、色だけでなく感触の違う素材を使って、視覚に障がいのある児童にも違いがわかるよう
にしました（写真-1）。

力を込めて引っ張ることができるように、いもが出てくる出口部分にゴム製の排水溝フタを取り付
けて、出口部分を狭めました（写真-2）。

いもが出口手前でひっかからないように、箱内に斜面を付けました（写真-3）。



(写真-1)



(写真-2)



(写真-3)

(2) 小学部自立活動 (て) …歌って、触れて、転がすサイコロ

対象物に手を伸ばしてほしいという願いから、視覚的にも目につきやすく、聴覚的に理解でき、触れてもわかる教材づくりを行いました。(写真-4、写真-5)

視界に入りやすいように、カラフルで大きめに作ったり、転がりやすいように外側を円形にし、車輪の役目になるようにしたりしました(視覚)。それぞれの動物の一部分に素材の違うものを張り付け、触れるだけで違いがわかるようにしました(触覚)。四面体の中に鈴を入れ、転がったり、揺れたりすると、音が鳴るようにしました(聴覚)。



(写真-4)



(写真-5)

(3) 中学部保健体育科…キックターゲットビンゴ

2 チームに分かれて各チームで果物の配置を考えた後、キックターゲットを行いました(写真-6)(写真-7)。

ビンゴカードは、子どもたちがつかみやすいように発泡スチロールを使用し分厚くしました。また、馴染みのある果物を取り入れてビンゴを行いました。イラストと文字を入れ、視覚的にわかるようにしました(写真-6)。



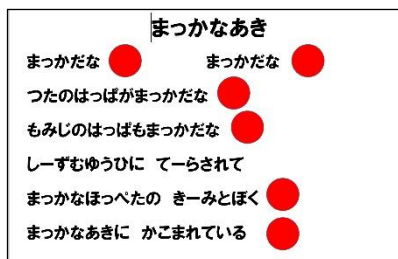
(写真-6)



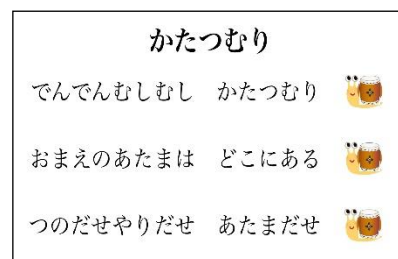
(写真-7)

(4) 中学部音楽科…楽器を鳴らして曲を進めよう

みんながよく知っている季節の曲を用いました。曲の切れめ(例 4 小節ごと)で楽器を鳴らしていく活動を行いました。歌詞カードのイラストや印の部分(下図参照)で演奏(ピアノ)をとめ、生徒が楽器を鳴らしたら演奏を再開するようにしました(写真-8、写真-9)。楽器が鳴るまで曲(伴奏)は進まないようにし、楽器を鳴らすことで曲を進められることを感じ、覚え、楽しむ教材です。少しずつ方法を変えて、さまざまな発達段階の生徒に行いました。



(写真-8)



(写真-9)

